

## 19 しりとり

「しりとり」の問題は、「ことば」と同様、言語能力が問われる問題です。入試での出題頻度は中程度といったところですが、最近「しりとり」ではなく「あたまとり」の考え方が必要になってきました。終わりだけではなく頭の文字も考えましょう。

「ことば」と同様に、「しりとり」も言語能力が問われる問題です。入試での出題頻度は中程度といったところですが、最近「しりとり」ではなく「あたまとり」の考え方が必要になってきました。終わりだけではなく頭の文字も考えましょう。

## 20~22 数と計算①~③

数能力を育成するためには、ただ単に1, 2, 3と数えるのではなく、瞬時に数を捉えて2~5のかたまりに数を分解して合成することが大切であり、これが数学全般にわたる基礎能力である数論理能力を鍛えることにつながります。

## 23 重さ比べ

「重さ比べ」で重要なのは、実際に重いほうが下がるということを実感させ、理解させることです。紙の上でのトレーニングだけでなく、シーソーやばねばかりで遊んで、重さの概念がきちんと理解できるようにしてください。

## 24 量と重さ

量の概念は、経験によって理解できるようにしなければいけません。そのためには、日常生活の中で様々なことを学べるようにしてあげましょう。小学校入試前には、ある程度の量概念は完全に理解している必要があります。

## 25 同類図形

同じ図形を探して解答します。この「同類図形」の問題が正しく理解できるようになると、全体の関係の中で物事を比較し、差異を明確にして問題を解決する能力が育ちます。これは早く正確に問題を解決する能力にもつながります。

## 26 折り重なり図形

重なった図形を想像し解答します。折り重ねる図形の片側は、鏡のように映されることに留意してください。思考力を正しく育て、チェックするためにも、線を引いたり図形を書き込んだりはしないで下さい。

## 27 折り紙展開

折り紙展開の問題を解答するための能力である左右対称把握能力は、三次元世界における位置関係把握の大切な座標軸となります。実際に折り紙を折って、切り取って、開いて、どのようになるのか想像できるようにしてください。

## 28 仲間はずれ

この問題では、言葉には個々を表す言葉と、仲間を表す言葉があることに注意を向けさせます。そうすれば、表面的な音声としての言葉から、言葉の中身を考える方向に思考が向かい始め法則性を発見する能力・思考力へとつながります。